



創造みらい半田 岩田 玲子

働く保護者や保育士を応援できる保育園

問 現在、低年齢児の保護者が保育園に到着後に行う、子どもを預かってもらうまでの準備の作業は多岐にわたります。朝忙しい通勤前の保護者にとっては大変な負担となっていると考えますが、そのような声は届いていますか。

答 特に低年齢児の子どもを持つ保護者の方は、衣類の補充やおむつのセットなど、子どもを預けるまでの準備が多岐にわたります。ご負担をおかけしていることは承知しています。

問 現在、私立保育園や、都心部の公立保育園ではすでに導入が進んでいるおむつの持参、仕分けが不要になるおむつのサブスクリプションを半田市でも導入することは、保護者と保育士の負担軽減と、感染症対策になると考えます。半田市の見解を伺います。

答 おむつのサブスクリプションを保護者が利用した場合、家庭でおむつに名前を書く必要がなくなり、登園準備のための時間短縮、荷物の軽減につながります。また、保育士にとっては、おむつの枚数を管理する必要がなくなるため、より保育に専念でき、おむつの持参による接触ルートへの低減にもつながるため、感染症リスクを減らすことが期待されます。双方にとってメリットがあることから、導入を検討していきます。

問 今後、使用済みおむつの持ち帰りを廃止し、半田市で回収を行うことは、保護者、保育士の負担軽減と、働く保護者と保育士を応援できる取り組みと考えます。半田市の見解を伺います。

答 保護者の負担軽減につながるだけでなく、保育士にとっても使用済みおむつを仕分けする必要がないなど、業務負担の軽減といった一定のメリットがあるため、園での紙おむつ処分は実施できるとの考えに至っています。



無所属 鈴木 健一

教員の働き方を問う

問 教員の配置は現状どうなっていますか。

答 追加配置定数分において、3名が未配置となっています。

問 教員の在校時間の把握はどのように管理していますか。

答 文部科学省による告示通り、クラウド型勤怠管理システムを使用して管理しています。

問 教員の休憩時間の実態はどのようですか。

答 一日45分の休憩を2回に分けて取得しています。

問 タブレットを活用した教員の現状について把握していますか。

答 ICT支援員の配置や、ヘルプデスクの活用、研修などにより活用が進んでいます。

半田市保育園等公民連携更新計画について問う

問 来年度開園予定と花園保育園の進捗はどうなっていますか。

答 鉄骨等、建築コストの上昇により、建築業者を決定できていない状況にあります。

問 花園保育園の民営化の現状について、保護者や地域住民への説明会は開催しますか。

答 施工業者が決まり、今後の方向性が定まった後、開催予定です。

問 どの様な根拠に基づき、中学校区単位の計画にしたのですか。

答 地理的条件、人口、交通事業など総合的に勘案して決定しました。

問 民間による花園保育園の開園について、民間任せで対処できると考えていますか。

答 今回、プロポーザルで決定した業者は実績、規模、資産状況も良好であるので、充分に対応できると考えています。

問 子ども達を、安心・安全な環境の中で育てる責務は自治体にあると考えます。このことについてどのような配慮を行い、また検討しましたか。

答 民間事業者に保育を移管した後も、県と自治体の責務を果たしていきます。



一般質問（原稿執筆までの流れ）

